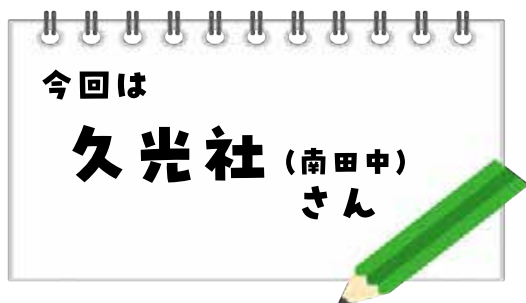


千葉真由佳の 知りたい！ひらかわ

私、千葉真由佳が平川市の魅力を取材し、深掘りします！
今後も平川市におじゃましますので、お楽しみに！



千葉 真由佳 (ちば・まゆか)
青森県出身の cent.Force (セント・フォース) 所属アナウンサー。TBS「THE TIME」出演など全国的にメディア出演実績あり。地元愛が強く、県内でもイベント司会やキャリア講師、観光 PR など多方面で活躍中。



りんごがモチーフ！平川市生まれの『りんごのリズム』。りんご模様の豆しぼりはみなさんも県内各地の売り場で見かけたことがあるはず。「青森らしさを日常の中で感じてもらえるように」と話すのは代表の葛西千佳子さん。ものづくりへの情熱をインタビューでお届けします。

——青森のシンボルでもあるりんごのブランドを立ち上げた経緯を教えてください。

私、りんご問屋の娘なんです。高校卒業後に上京して服飾を学んで、30代の時に青森に U ターンして家の手伝いをしながら洋服のハンド加工とかを続けていたんですけど、新青森駅まで新幹線が開通したときにプロモーションしていた方々が首に豆絞りをかけていたのをテレビで見た時に、急に「あ、この豆絞りの豆をりんご柄にしたら、面白いんじゃないかな」って思ったんです。りんご問屋の娘としてこういう形でりんごを受け継ぐこともできるなって。



——「りんごのリズム」って素敵な名前ですね。

私の頭の中で、りんごが行進しているような可愛らしい感じにしたいくて画家の山谷芳弘先生に相談して命名していただきました。

——2011年からオリジナルグッズを作り続けているとのことですが、何種類くらいあるんですか？

形になったものは60以上ですかね、商品化していない物も合わせるともっとありますよ。とにかくものづくりが好きなんです。知り合いや誰かになにが作ってあげたいなあって気持ちからアイデアが生まれます。赤ちゃん用のスタイなんかもりんご型にして、それで「わぁ可愛い」って喜んでもらえたら嬉しいですね。余った残布もなるべく無駄にしないでちょっとした便利なものにならないかなって考えるんです。例えば布1枚で雑巾として使うよりも手が入るように2枚重ねて縫って物を拭けるようにしたりとか。



——使う人のことをすごく考えていらっしゃるんですね。そのような細やかな考えはどうやって生まれるんでしょうか？

「ハイブリッド手ぬぐいタオル」というタオルがあるんですけど、これは真ん中だけ薄い手ぬぐいの生地にして、作業する人が首にかけたときにゴロゴロせず快適に使えるように作ったんですけど、持った人のお役に立てるように、使いやすいように工夫しています。

——今後の目標を教えてください。

りんごからイメージしたものを形にすることで私達の文化や青森のりんごの魅力を発信し続けていきたいです。

「大好きなものづくりで地域を元気にしたい！」常に誰かへの思いやりから生まれる、優しさにあふれた創作に私も心がときめきました。葛西さんが作るりんごアイテムに今後も期待が高まります。